

6年 道徳	レベルアップ!自分の心2!	6年③
目標	日常生活や道徳科の授業のなかで、多様な考え方や捉え方にふれ、内省し、その思いを書くことを通して、相手を大切にしようという心情を高める。	
使用したICT機器類・教具等	大型テレビ、HDMIケーブル、ノートパソコン、ホワイトボード、心カード	
思考ツール・プログラミング	マインドマップ	

◆プログラミング的思考とのつながり

- ・子どもたちがマインドマップを用いることで、テーマに沿ってでてきた考えを整理したり、分類したりしながら、自分たちの考えを可視化するなかで、論理的思考力を高める。
- ・グループで考えたことを発表する際に、マインドマップを活用しながら板書をまとめることで、意見の構造を可視化し、子どもたち自身で考えの関連を見つけていく。

◆授業の実際

1 前時の振り返りをする。

○前時でまとめたホワイトボードの画像を大型テレビで確認し、言葉づかいが悪くなった経験やそのときの相手の気持ちについて思い起こした。相手を傷つける言葉をなくしていきたいという思いを取り上げ、主発問につなげた。

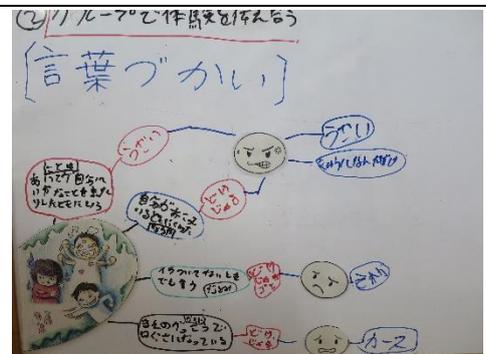
2 言葉づかいをよくするには、どんな天使の心があればよいかを考え、グループで話し合っまとめる。

○グループごとに、司会を中心に、それぞれが大切だと思う心カードを選びながら意見を言い、ホワイトボードにまとめていった。「反省する心」など、同じカードを選んでいても理由が異なったり、その子なりのエピソードがあったりし、カードに書かれた言葉について考えを深めていた。

○まとめていく際には、「この心に近そうだよ」など、意見を見やすく整理したり、理由が似ている場合には線でつないだりするなど、他の考えと比較したり関連づけたりしながら話し合うことができた。

3 言葉づかいをよくするには、どんな天使の心があればよいかを全体で話し合う。

○各グループで考えたことを発表し、板書にマインドマップでまとめた。自分の心、相手への心など、さまざまな心のつながりに気づき、言葉づかいをよくしたいという思いをもつことができた。



【言葉づかいが悪くなったとき（前時）】



【どんな天使の心が大切かを出し合う】



◆実践を通して

- ・グループで、心カードを使いながら考えて話すことで、どの子も関わる事ができた。また、マインドマップを活用しながらまとめていくことで、一人一人の意見をホワイトボード上で可視化し、出された意見や考えを整理したり、関連づけたりしながら関わり合うことができた。
- ・マインドマップで板書されたものを見ながら、出てきた多くの考えがどのように分類できるのか、どのようにつながっているのかをさらに見つけ出し、考えを広げたり深めたりすることができた。

